

# 放課後学習支援手法の複数トライアルについて

子ども未来創造局 学校生活支援課、学校教育室

- ◆ 生活困窮家庭の子どもに対するより効果の高い放課後学習支援手法を特定するため、複数の学習支援手法をトライアルし、効果検証を行います。
- ◆ 新放課後モデル事業において、自学自習の場を提供する「スタディルーム」をベースに、タブレット学習ソフトの導入や、学習指導の委託を試行実施します。
- ◆ また、小学3年生の子どもを持つ生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯を対象に、学習塾代等を助成する「塾代等助成モデル事業」を試行実施します。

## 1 予算概要

### (1) 歳入

- ①大阪府新子育て支援交付金 9,417 千円
- ②生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 3,291 千円

### (2) 歳出

- ①新放課後モデル事業（スタディルーム部分のみ） 計 11,583 千円
  - ・需用費 341 千円（タブレット学習用消耗品）
  - ・委託料 6,620 千円（学習指導委託、無線 LAN 設置導入委託等）
  - ・使用料 1,800 千円（タブレット学習ソフト使用料等）
  - ・人件費 2,822 千円（臨時職員賃金）
- ②塾代等助成モデル事業 計 9,017 千円
  - ・補助金 9,000 千円（塾代等助成費）
  - ・通信運搬費 17 千円（認定通知等郵送料）
- ③箕面学力・体力・生活状況総合調査実施事業（リーディングスキルテスト分のみ） 計 40 千円
  - ・委託料 40 千円（リーディングスキル調査委託）

## 2 効果検証を行う放課後学習支援手法の概要

項目	放課後スタディルーム		塾代等助成 (モデル事業)	リーディング スキルテスト	
	現行	学習指導委託			タブレット学習
内容	・宿題等に取り 組む自学自 習教室	・家庭教師派遣 業者等の派遣 講師による放課 後の学習教室	・タブレット学習ソ フトを1校あたり 1種、計6種で 試行	・学習塾代とし て、上限月額 2万円を補助 ・対象45人(※)	・二中校区の全 児童・生徒を 対象にモデル 実施
特徴	・場所の提供 のみ	・派遣講師が児 童の学力や学 習状況に合わ せて学習支援	・習熟度に応じた 演習問題や、 自動採点・解説 により学習支援	・各家庭が児童 に合った塾等 を選択できる よう経費支援	・基礎的読解力 を測定するテ スト

(※)学力差に開きが出始める小学校3年生のうち、生活保護及び児童扶養手当の受給世帯が対象